



# 手子林公民館だより

令和5年11月1日  
発行 手子林公民館  
電話 565-2668

## ～初春を彩る寄せ植え講座 ～季節の植物でガーデニングッ！～



- ▶日時：1月14日（日曜日）  
午前9時30分～11時30分
- ▶対象：市内在住・在勤・在学の方
- ▶人数：16名 ▶費用：2,000円
- ▶持ち物：エプロン、軍手など、シャベル、園芸用はさみ、持ち帰り用の袋
- ▶申込み：11月11日（土）より受付開始。  
※費用を添えて手子林公民館にご来館下さい。

文化財パネル展

### ムジナモと

牧野富太郎

▶11月18日（土）  
～26日（日）

▶手子林公民館 ロビー

☆牧野富太郎さんは朝ドラ「らんまん」の主人公のモデルとなった人物です。

### 図書ボラ共催 子どもお楽しみ映画会

～なんの映画？ 来てからのお楽しみ！ プレゼントもあるよ♡

◎日時：12月17日（日）  
午後2時00分～3時30分

◎場所：手子林公民館 1階和室

◎定員：40名 ◎費用：無料

◎申込み：11月4日（土）から受付  
（お電話でもOKです）



## ～社交ダンス教室～

○基本を学び、社交ダンスを始めませんか。 Shall We Dance !

▶日時：2月3日・10日・17日（土曜日）全3回  
午前10時30分～11時30分

▶費用：無料

▶持ち物：動きやすい服装、タオル、飲み物、  
室内シューズ（お持ちの方はダンスシューズ）

▶申込み：11月4日（土）受付開始（電話でも可）



### 市民座談会

市政に関する意見交換を行う市民座談会を開催します。

▶11月25日（土）  
午前10時～11時

▶手子林公民館 講堂

### はつらつ教室

11月22日（水）10:00～11:00

### 健康運動教室

11月10日・17日・24日

各金曜日 10:00～11:30

### ふれあい大学

（高齢者大学）

11月9日（木）9:30～11:30

「いきいき健幸音楽教室・閉講式」

### 公民館 11 休館日

2023 November

日	月	火	水	木	金	土
			1	2	3	4
5	6	7	8	9	10	11
12	13	14	15	16	17	18
19	20	21	22	23	24	25
26	27	28	29	30		

○毎週火曜日 3日：文化の日

23日：勤労感謝の日



裏面も

見てね！



## 『極楽征夷大將軍』 垣根 涼介 著

混迷する時代に、かれのような意志を欠いた人間が、何度も失脚の窮地に立たされながらも権力の頂点へと登り詰められたのはなぜか？

幕府の祖でありながら、謎に包まれた初代將軍・足利尊氏の秘密を解き明かす歴史群像劇。

## 『木挽町のあだ討ち』 永井 紗耶子 著

疑う隙なんぞありはしない、あれは立派な仇討ちでしたよ。芝居町の語り草となった大事件、その真相は……。現代人の心を揺さぶり勇気づける令和の革命的傑作誕生！

## 『ハンチバック』 市川 沙央 著

井沢積華の背骨は、右肺を押し潰すかたちで極度に湾曲している。

両親が遺したグループホームの十畳の自室から積華は、あらゆる言葉を送り出す……。

圧倒的迫力&ユーモアで選考会に衝撃を与えた、第128回文學界新人賞受賞作。

## 『大ピンチずかん』 鈴木 のりたけ 著・文

もういつピンチが来ても大丈夫だ！ この図鑑で、子どもが会う大ピンチを知れば、いつ大ピンチになってもこわくない。

鋭くもあたたかい観察眼と、思わず吹き出すユーモアにあふれた一冊。

## 『クスノキの番人』 東野 圭吾 著 ~明日に希望をもてるように、と思いながら書きました。

恩人の命令は、思いがけないものだった。オリコン文庫ランキング2023年上半期 第1位！

不当な解雇で腹いせに罪を犯して逮捕、そこへ弁護士が現れ、依頼人に従うなら釈放すると提案が。

依頼人の女性が命令する。「あなたにしてもらいたいこと、それはクスノキの番人です」と……。

## 新刊情報

## 『あなたが誰かを殺した』 東野 圭吾 著

★★★ミステリ、ど真ん中。★★★最初から最後までずっと「面白い！」至高のミステリー体験。

閑静な別荘地で起きた連続殺人事件。愛する家族が奪われたのは偶然か、必然か。

私たちを待ち受けていたのは、想像もしない運命だった。

## 『窓ぎわのトットちゃん』 黒柳 徹子 著 (42年ぶりの続編、入荷予定です)

「きみは、本当は、いい子なんだよ」、深い愛情で子どもたちの個性を伸ばしていった校長先生が、トットちゃんに言い続けた言葉は、今も黒柳徹子さんの宝物です。

トットちゃんがユニークな教育のトモ工学園で、友達とのびのび成長していく自伝的物語。

## 『青瓜不動 三島屋変調百物語九之続』 宮部 みゆき 著 ~これが最後だ、二度と描かない。

行く当てのない女達のため土から生まれた不動明王。悲劇に見舞われた少女の執念が生んだ家族を守る人形。描きたいものを自在に描ける不思議な筆。そして、人ならざる者たちの里で育った者が語る物語。

恐ろしくも暖かい百物語に心を動かされ、富次郎は決意を固める――。

## 駅名「南羽生」が

## 地名にその②

大正11年、東武鉄道は伊勢崎線の電化を決定。大正13年から順次、電化工事が進められ、久喜駅〜館林駅間は複線化工事も同時に行われた。それに伴い、一時廃止されていた須影駅も、昭和2年4月、再び開駅された。しかし、当初の駅より100m移動し、大字須影(旧須影村)地内から大字神戸(旧手子林村)地内となり、昭和43年9月、「南羽生駅」と改称された。

昭和54年(1979年)、羽生市は、南羽生駅を中心とした大字須影、大字上手子林、大字神戸の地域に「南羽生土地区画整理事業」を着手、平成16年(2004年)事業完成。新住居表示は、駅名と同じ「南羽生」とされ、駅を中心として、「南羽生1〜4丁目」に区画された。

(「羽生市の地名」羽生須影

今むかし探究会 発行より)

